



Coming Art 2020

Selected Best up and Coming Artists

第11回埼玉県障害者アート企画展 概要

展覧会名	「Coming Art 2020」
会期	2020.12.2(Wed)～6(Sun)
会場	埼玉県立近代美術館 一般展示室1
キュレーション	中津川 浩章(美術家)
主催	埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±○ 社会福祉法人みぬま福祉会 ※「埼玉県障害者アートネットワークTAMAP±○」とは 埼玉県内の障害者アートに取り組む福祉施設・事業所がつくったネットワークです。 「TAMAP」には「埼玉をもっとアップ(向上)していきたい(SAITAMA+UP)」と いう意味が込められています。
共催	埼玉県、埼玉県障害者アートフェスティバル実行委員会
後援	JR東日本大宮支社(以下50音順) 上尾市、春日部市、川口市、川越市、行田市、久喜市、熊谷市、 さいたま市、白岡市、秩父市、鶴ヶ島市、所沢市、戸田市、新座市、東松山市、 蓮田市、日高市、本庄市、三郷市、毛呂山町、吉見町、嵐山町
協力	アートセンター集協力委員
助成	令和2年度 埼玉県障害者芸術文化活動普及支援事業

「Coming Art 2020」によせて

読めそうで読めない象形文字のような絵画。線描の小さなかたまりだけがぼつんと紙の隅に描かれたドローイング。自宅で人知れずにずっと作り続けてきた人形たち。仮面のような人物画、アボリジナルアートを彷彿させる点描画……。これは芸術なのか、単なる表出なのか、あるいは無意味な行為の反復なのか？ なぜこれほどまでに集中し、激しく表現するのか、見えそうで見えない、わかりそうでわからない。どう評価していいのか迷うようなさまざまな作品に戸惑い、感動し、心が波打つ。芸術とは、表現とは？ ……着地できない思いがぐるぐると頭の中を巡ります。すでにある美術の知識や文脈で解釈できるものを超えて、芸術が持つ尊い原初的な力が息づいています。

クオリティの高いアートを生み出すためにはなく、一人ひとりと向き合う支援の延長からおのずと生まれてきた作品たち。生きづらい現実の中にあって支援員たちのサポートを受けながらゆっくりと成長してきた、人の数だけ存在する「生きる」というメッセージ。この展覧会には障害がある人たちだけでなく、彼らと日常的に深く関わる福祉現場の支援員たちの言葉にしがたい思いも反映されているといえます。

埼玉県障害者アート企画展は11回目を迎えました。本展は厚生労働省・埼玉県助成による障害者芸術文化活動普及支援事業として、埼玉県内の30以上の福祉施設が協働し作り上げた現代アートの展覧会です。アートやデザイン、教育、法律などの専門家とともに各福祉施設のスタッフたちが対話を重ねながら、出展者74名による作品300点以上をセレクトしてきました。こうした展覧会の成立が、もちろん障害者理解につながっていくことを願い、それだけではなく、障害を通じて人間という不可知の存在の謎を共有し、いつの日か障害者アートというカテゴリーではなく、単に人間が表現することの「アート」として評価されることを願っています。

世界を覆うコロナ禍というこれまで経験したことのない状況の中で、なぜ、今このような時期にあえて展覧会を開催するのか。その意味と価値も含めてご観覧いただければと思います。

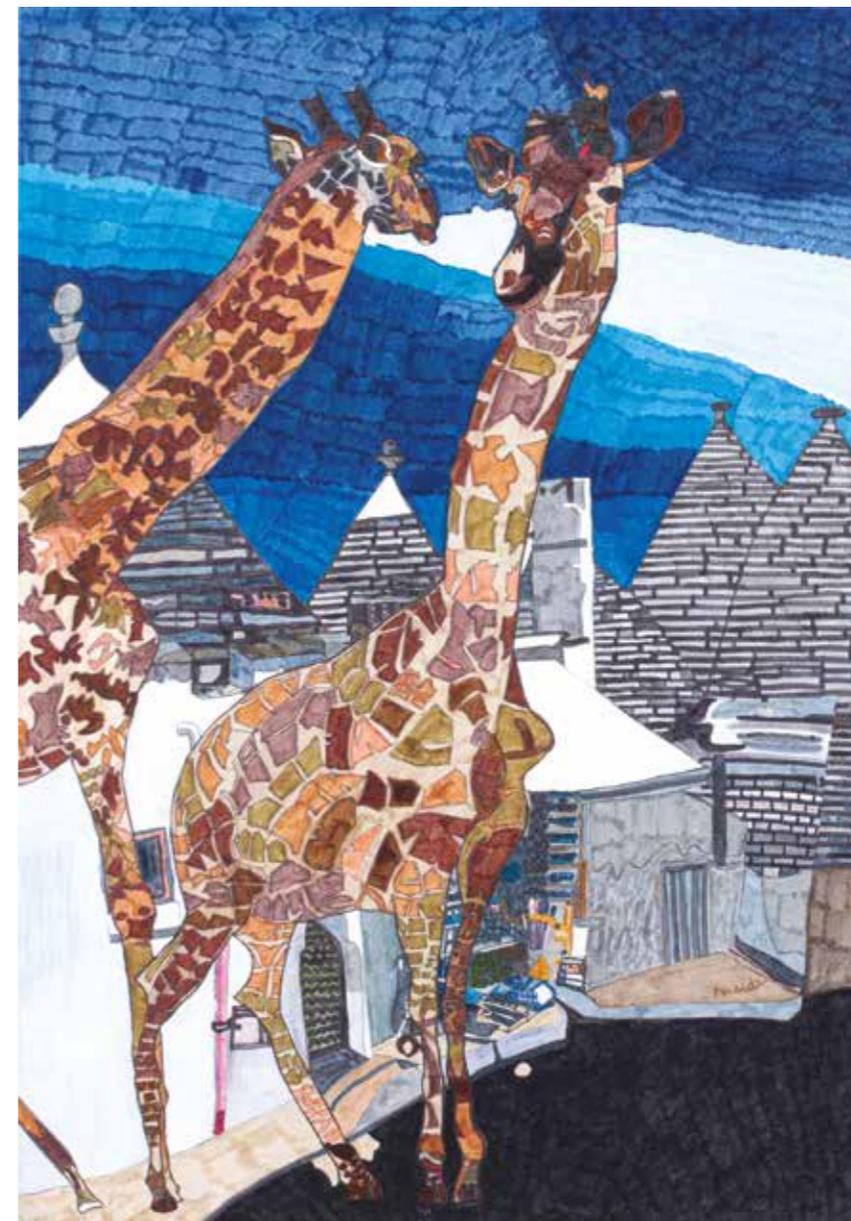
本展キュレーター・アートディレクター

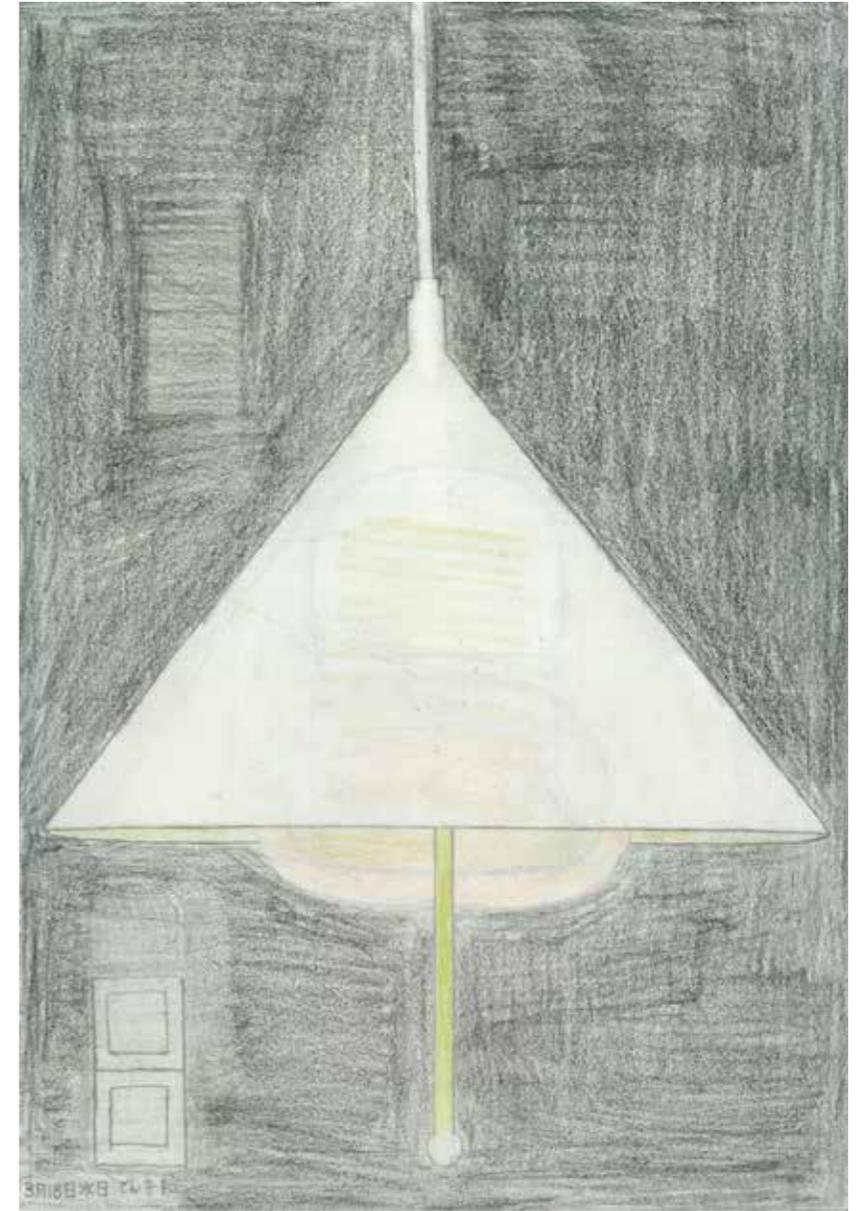
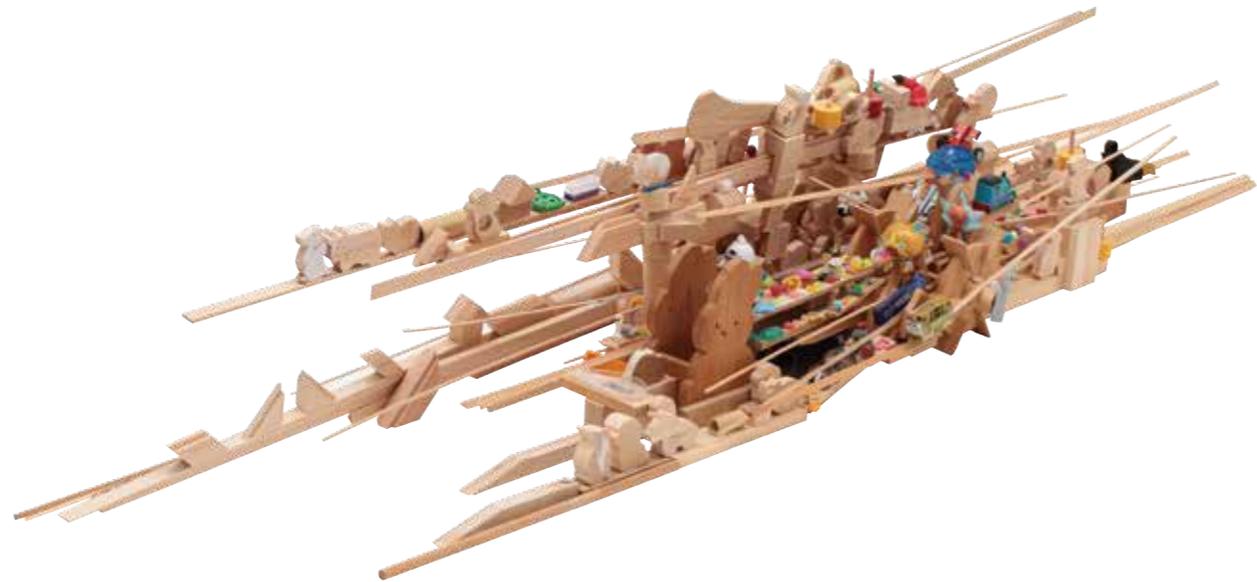
中津川 浩章

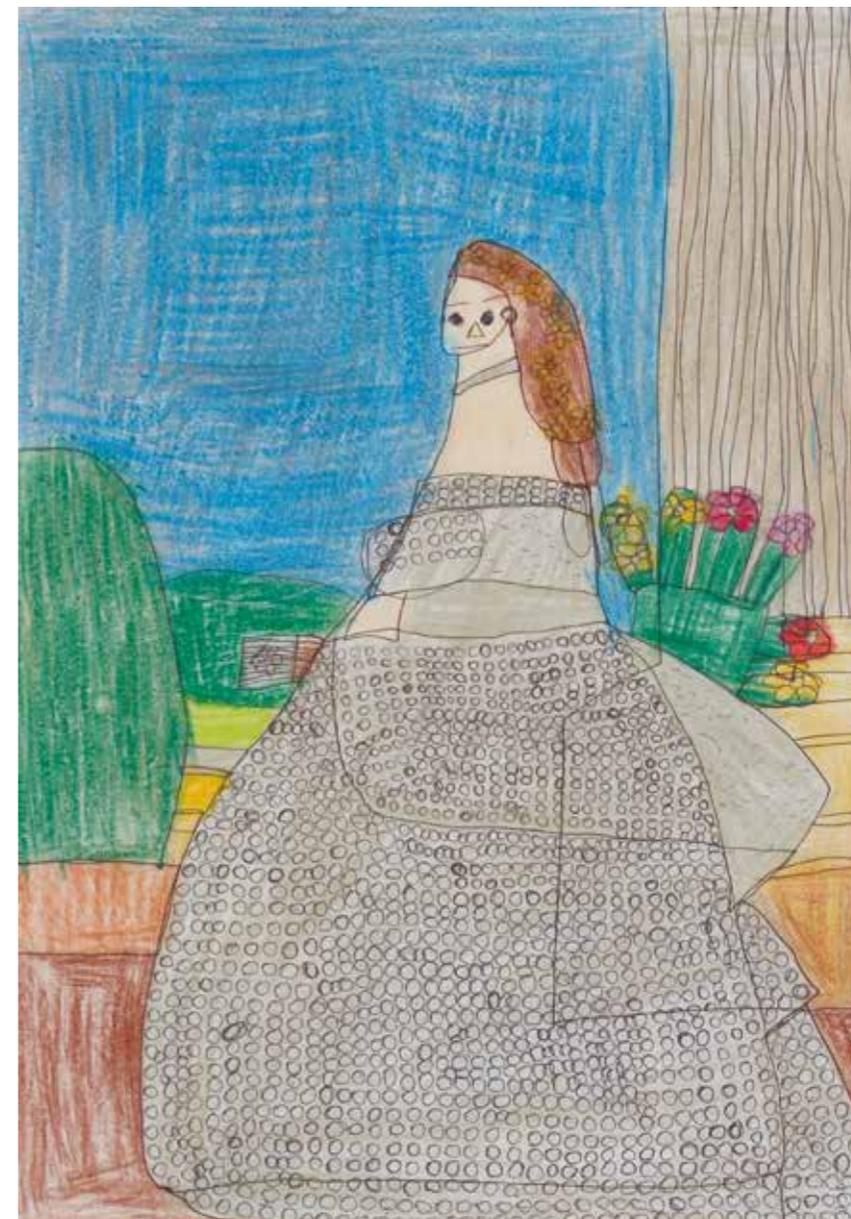
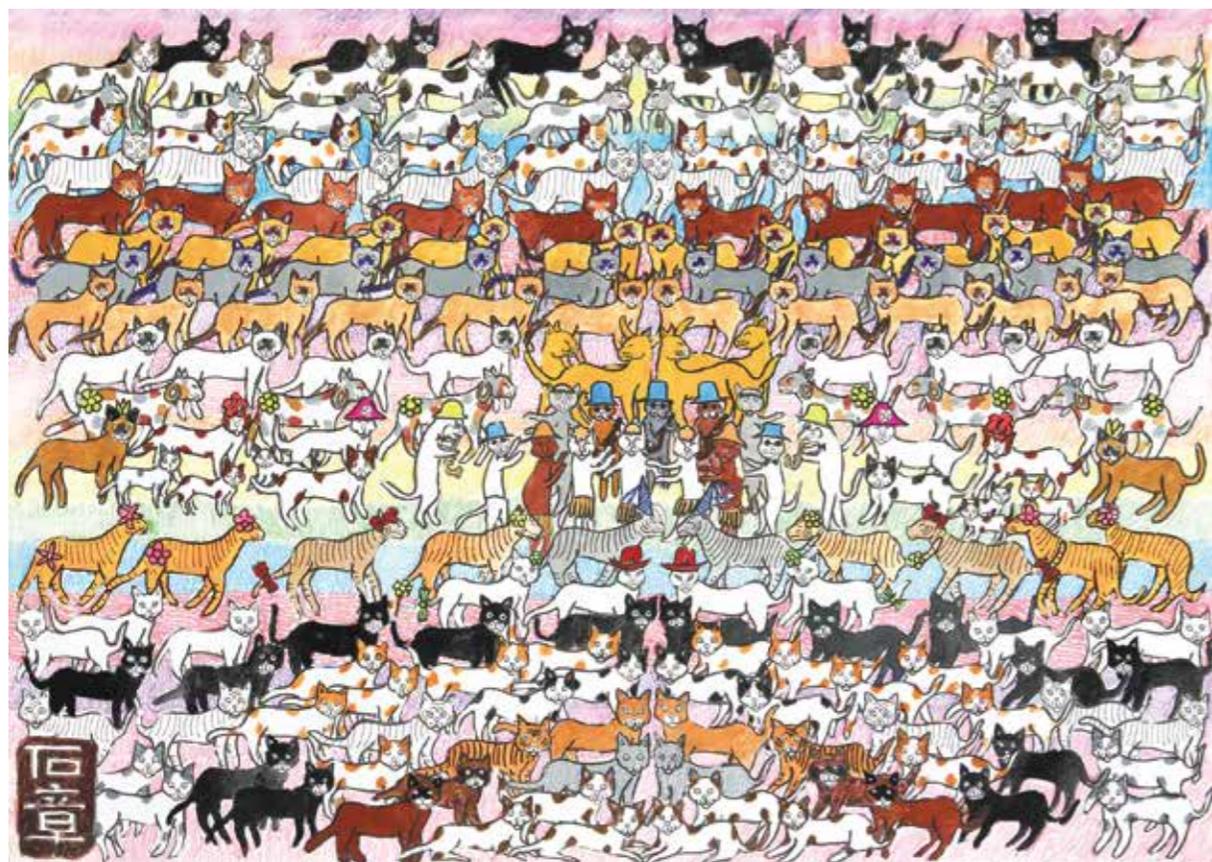
作家一覧(掲載頁索引)

7	相田 大希	1985	鴻巣市	26	甲村 哲之進	1984	川越市	45	田村 智宥	1994	蓮田市	64	真嶋 翔生	2001	比企郡吉見町
8	青木 悟	1983	川越市	27	小林 かほり	1996	さいたま市	46	富田 聖治	1959	秩父市	65	松崎 悠希	1993	本庄市
9	AMI	1988	行田市	28	小牧 美穂	1972	鶴ヶ島市	47	なお丸	1986	さいたま市	66	松田 良雄	1967	戸田市
10	石井 章	1957	鶴ヶ島市	29	斉藤 淳太	1996	川口市	48	永井 洋一	1973	所沢市	67	三宅 史洋	1985	さいたま市
11	石井 陸渡	1994	三郷市	30	斎藤 進	1948	春日部市	49	中崎 強	1963	入間郡毛呂山町	68	宮原 裕美	1975	川越市
12	伊藤 裕	1975	川口市	31	坂口 武繁	1974	上尾市	50	長野 雅史	1978	川越市	69	森 秋子	1949	東松山市
13	今泉 美恵	1947	久喜市	32	佐々木 省伍	1967	白岡市	51	中村 昌男	1956	秩父市	70	森川 里緒奈	1998	東松山市
14	岩井 美和子	1977	蓮田市	33	椎橋 豊	1975	新座市	52	成澤 瑞穂	1977	さいたま市	71	安田 拓海	1994	川口市
15	内田 拓磨	1982	東松山市	34	清水 聡	1985	川越市	53	西川 泰弘	1960	川口市	72	山口 敏夫	1942	東松山市
16	EMI	1980	行田市	35	関口 エイ子	1952	秩父市	54	能崎 由貴子	1984	川口市	73	ヤマダジュンヤ	1983	春日部市
17	大川 誠	1984	嵐山町	36	関口 直子	1976	日高市	55	野村 真優子	1996	熊谷市	74	山中 正則	1965	秩父市
18	大串 憲嗣	1968	川口市	37	高野 博史	1973	さいたま市	56	野本 竜士	1970	川口市	75	ユキウサギ	1971	新座市
19	大森 郁夫	1946	秩父市	38	高野 穂	1996	さいたま市	57	白田 直紀	1986	川口市	76	横山 明子	1973	川口市
20	小幡 海知生	1969	上尾市	39	高橋 康夫	1974	さいたま市	58	浜林 主基	1991	三郷市	77	横山 松幸	1973	白岡市
21	かすみん	1994	熊谷市	40	高谷 こずえ	1970	川口市	59	林 良樹	2001	久喜市	78	吉川 健司	1977	東松山市
22	岸 千晶	1994	戸田市	41	瀧田 千鶴	1992	熊谷市	60	原 和輝	1983	本庄市	79	リャン☆リー	1980	春日部市
23	けいこ	1965	久喜市	42	田島 絵里	1985	川口市	61	平川 寛隆	1990	川口市	80	渡邊 あや	1987	川口市
24	小泉 哲也	1981	秩父市	43	田中 啓示	1985	川口市	62	福島 尚	1970	日高市				
25	河野 大典	1981	本庄市	44	田中 悠紀	1979	川口市	63	星野 児胡	1985	さいたま市				

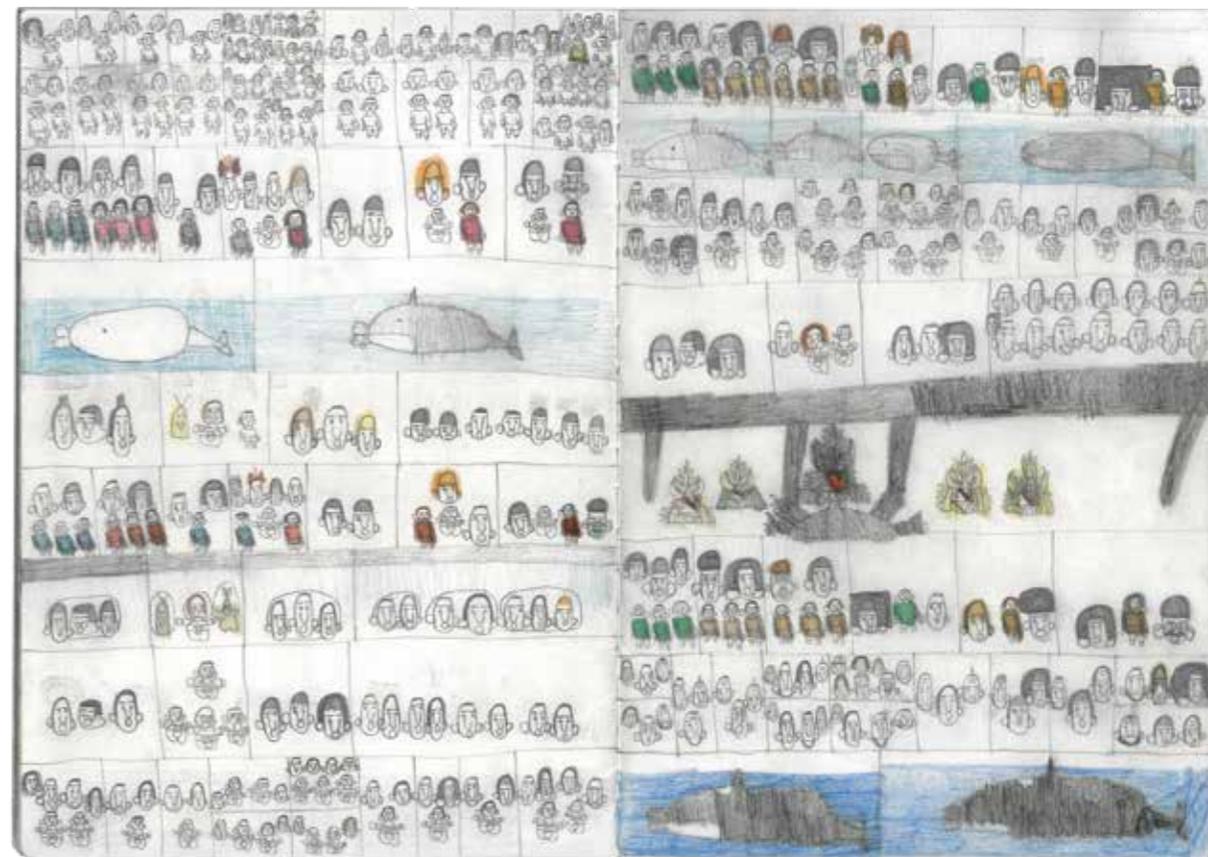
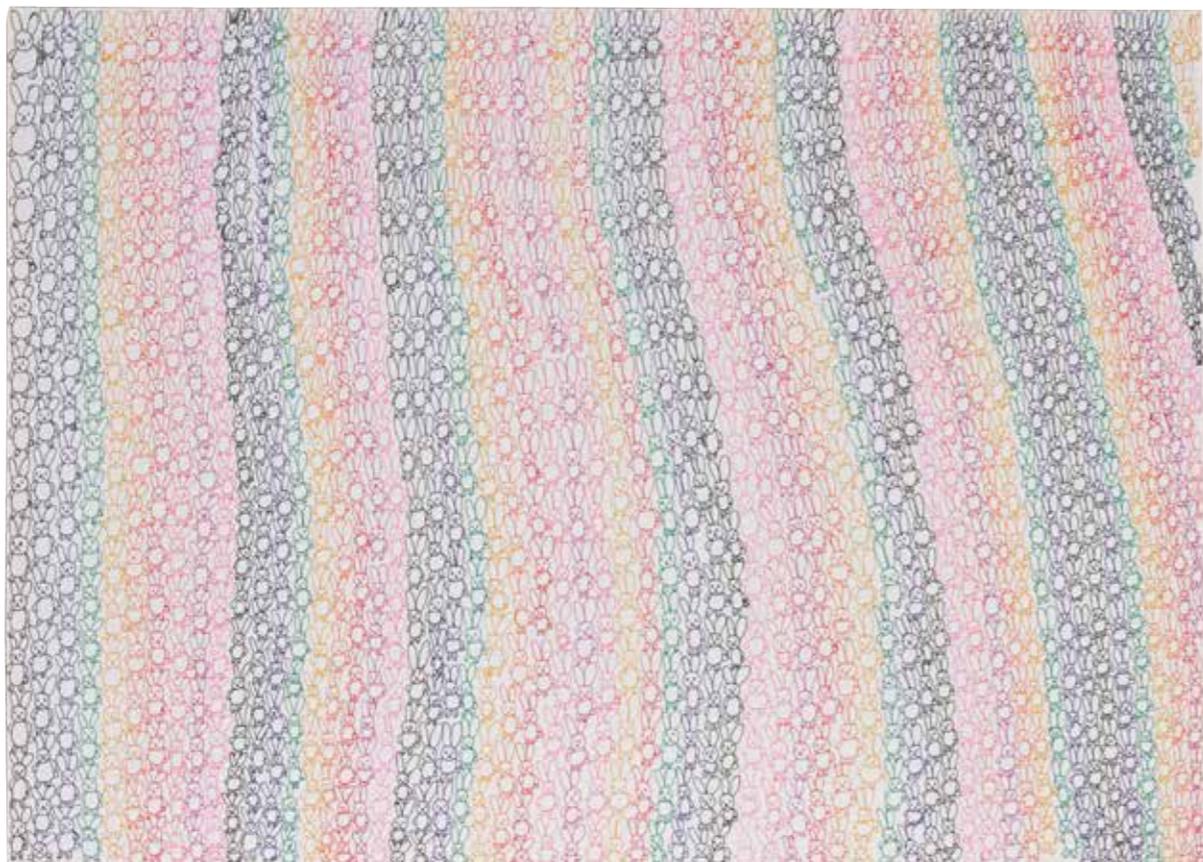
Coming Art 2020
natural born up-and-Coming Artists

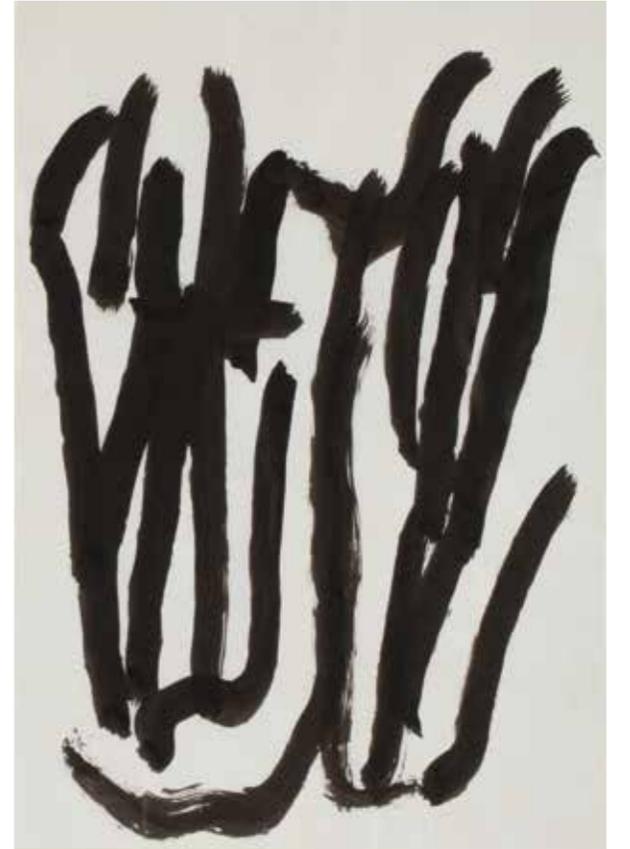


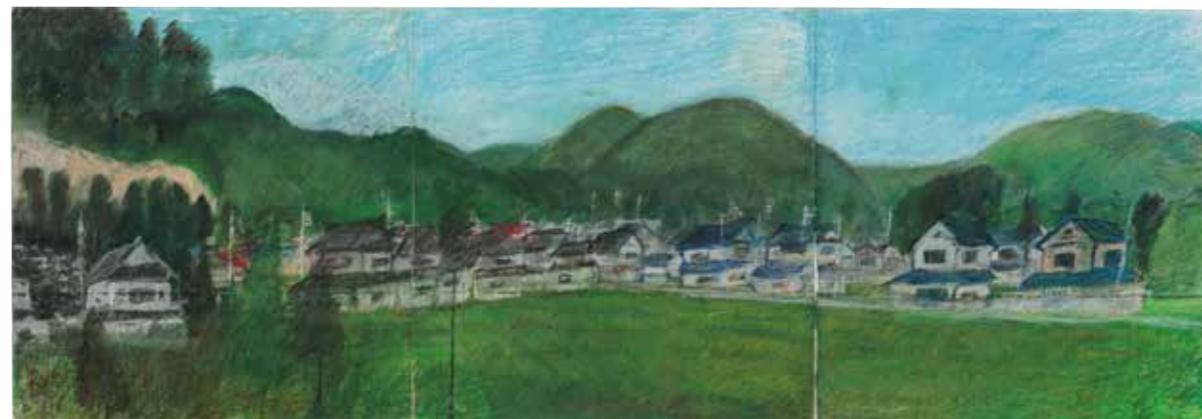


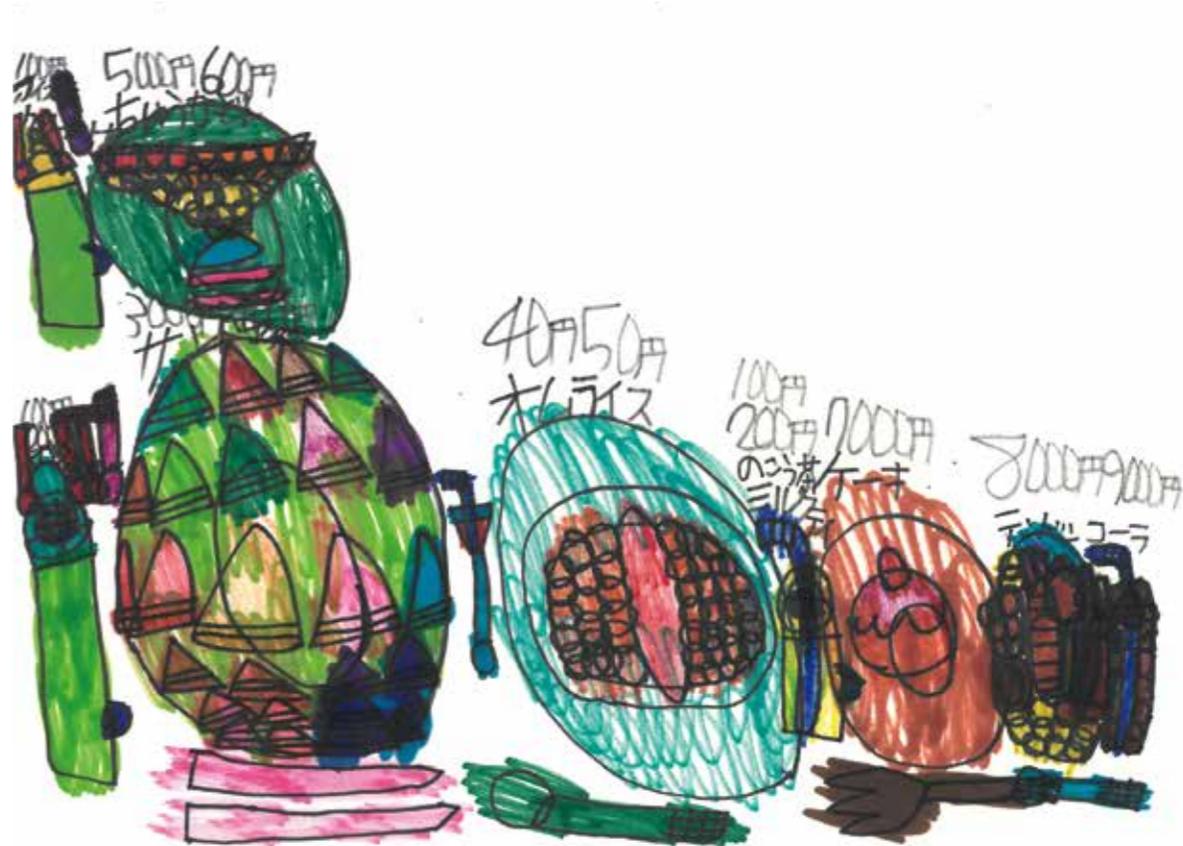




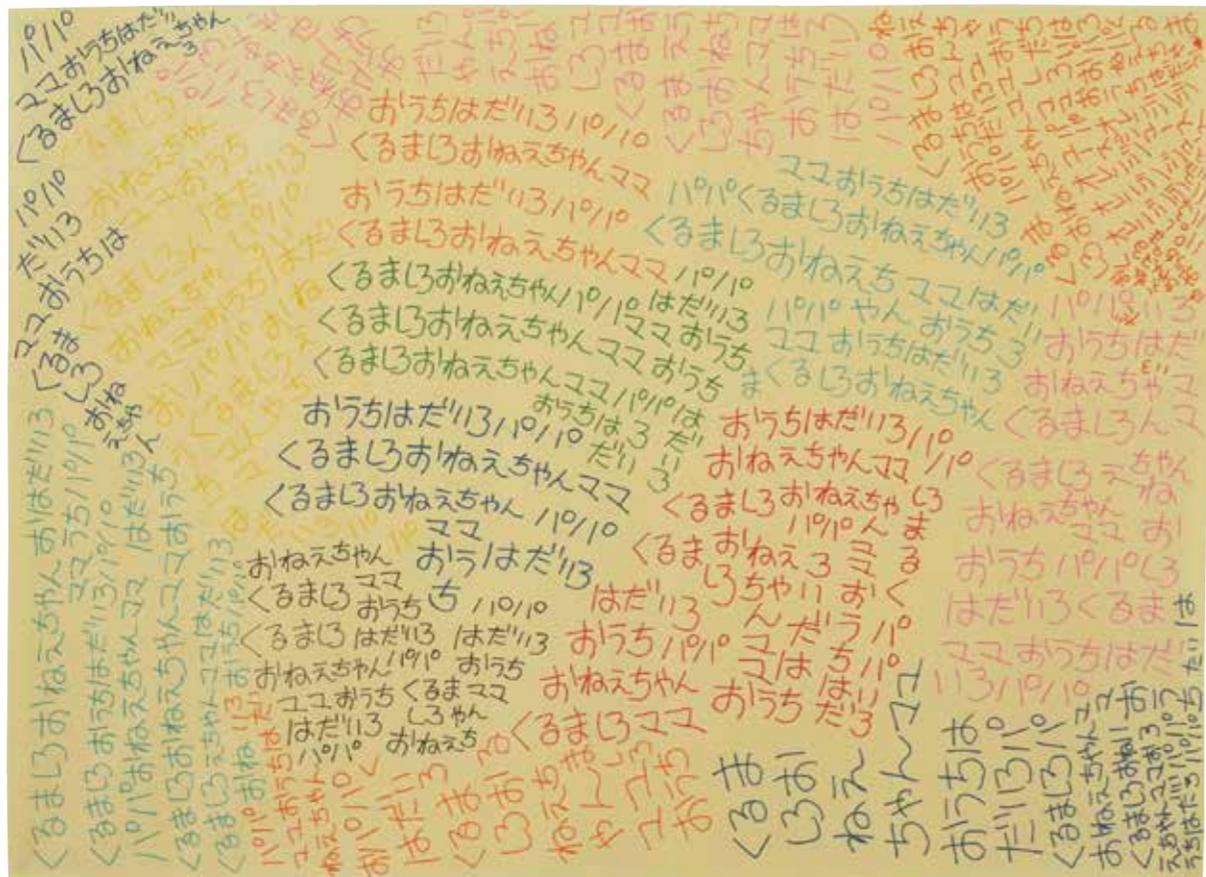






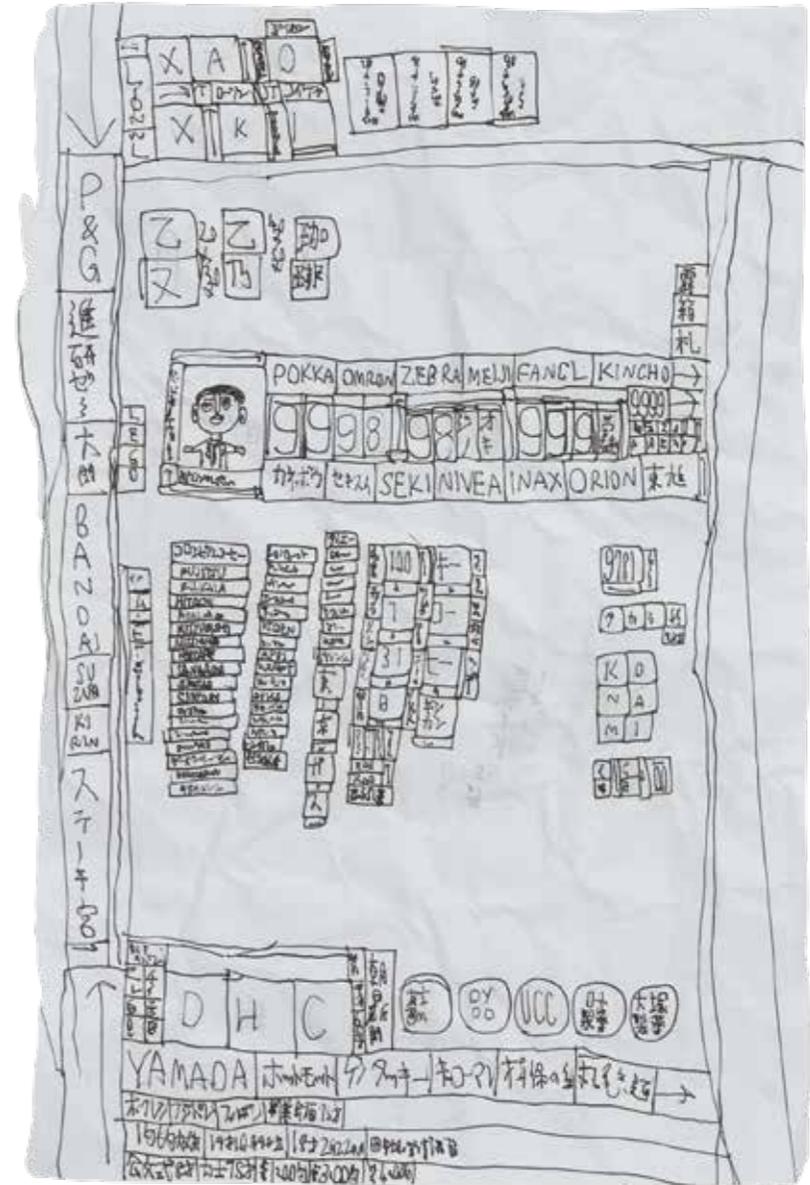
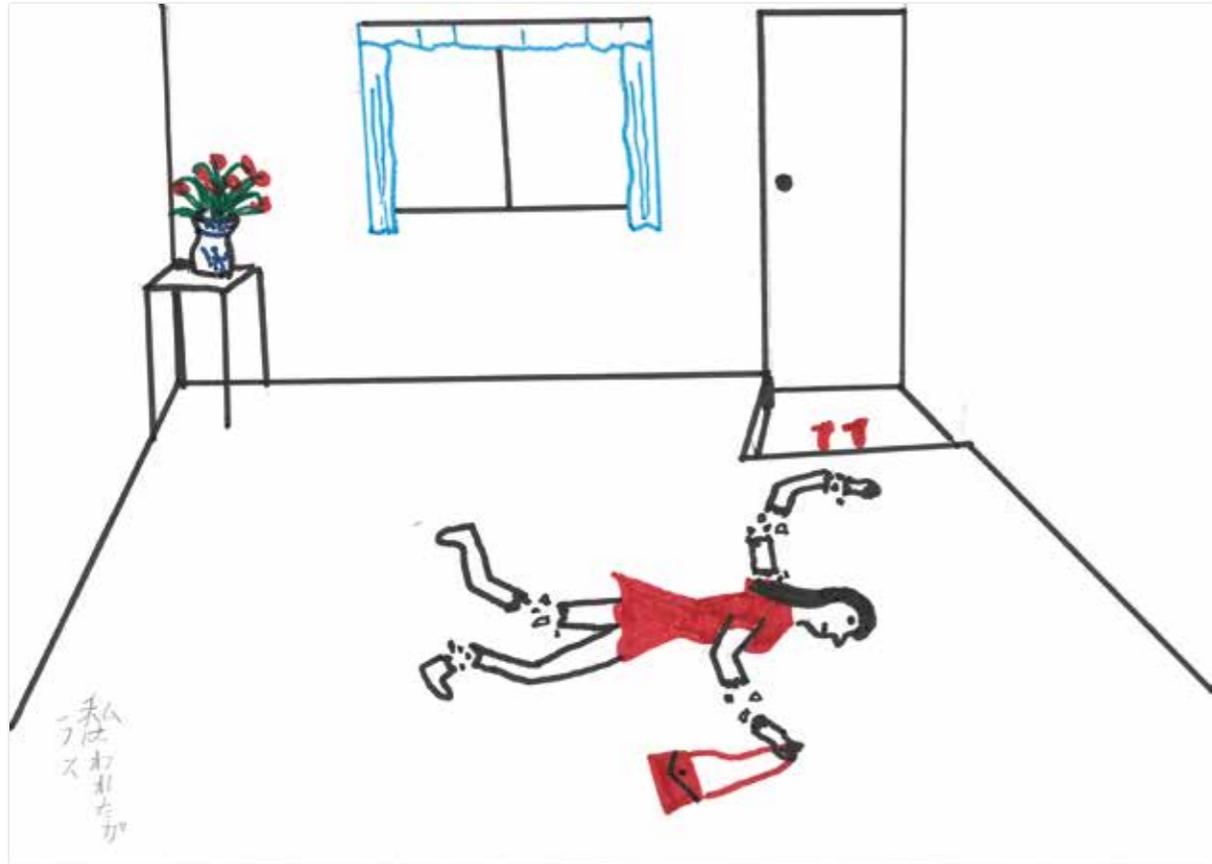
















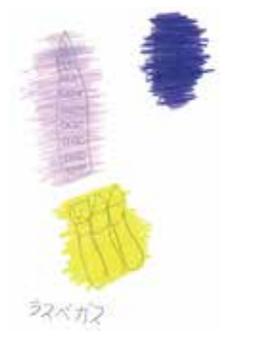
ラガナベルデ



ラスラリス級令



キト



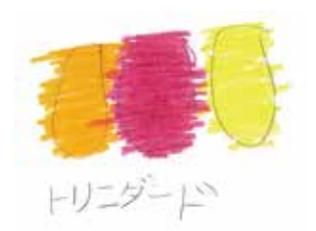
ラスベガス



ミスターデルムンド
キ



クス



トリニダード



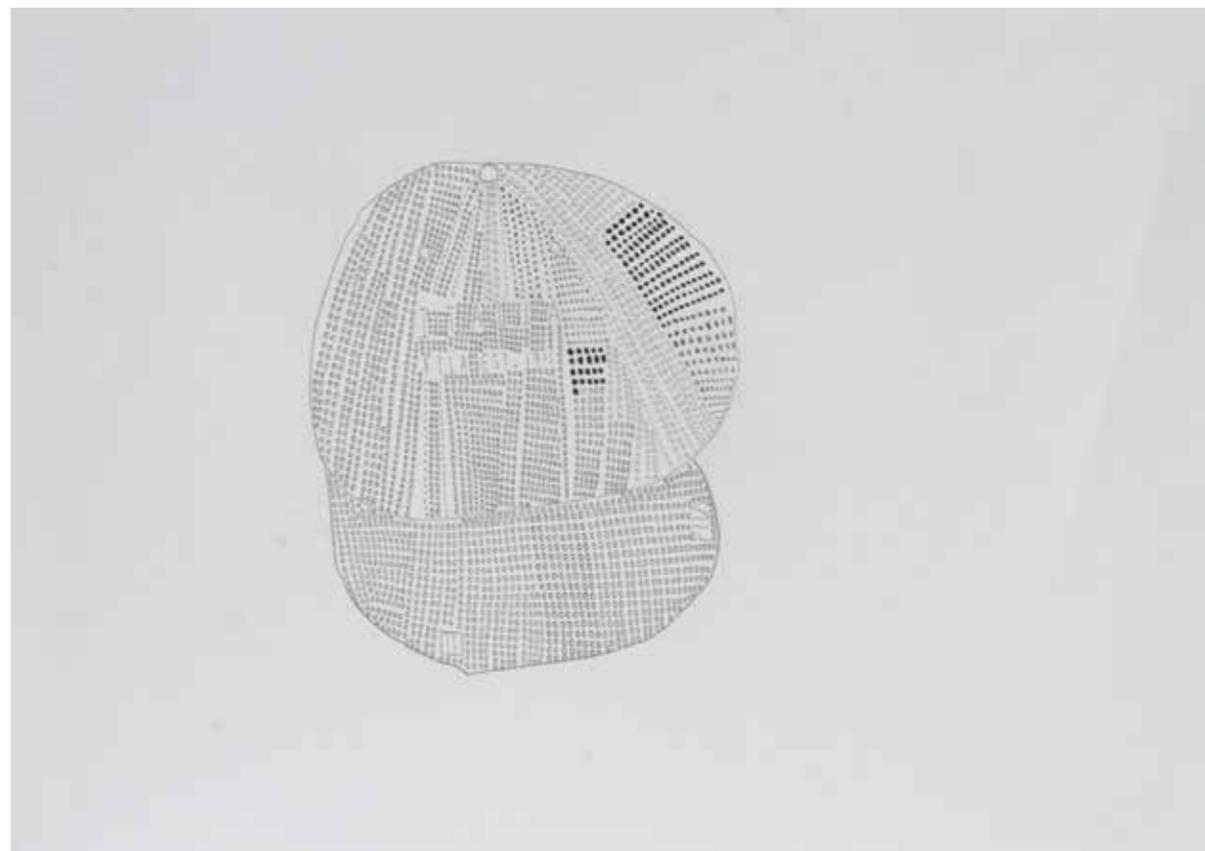
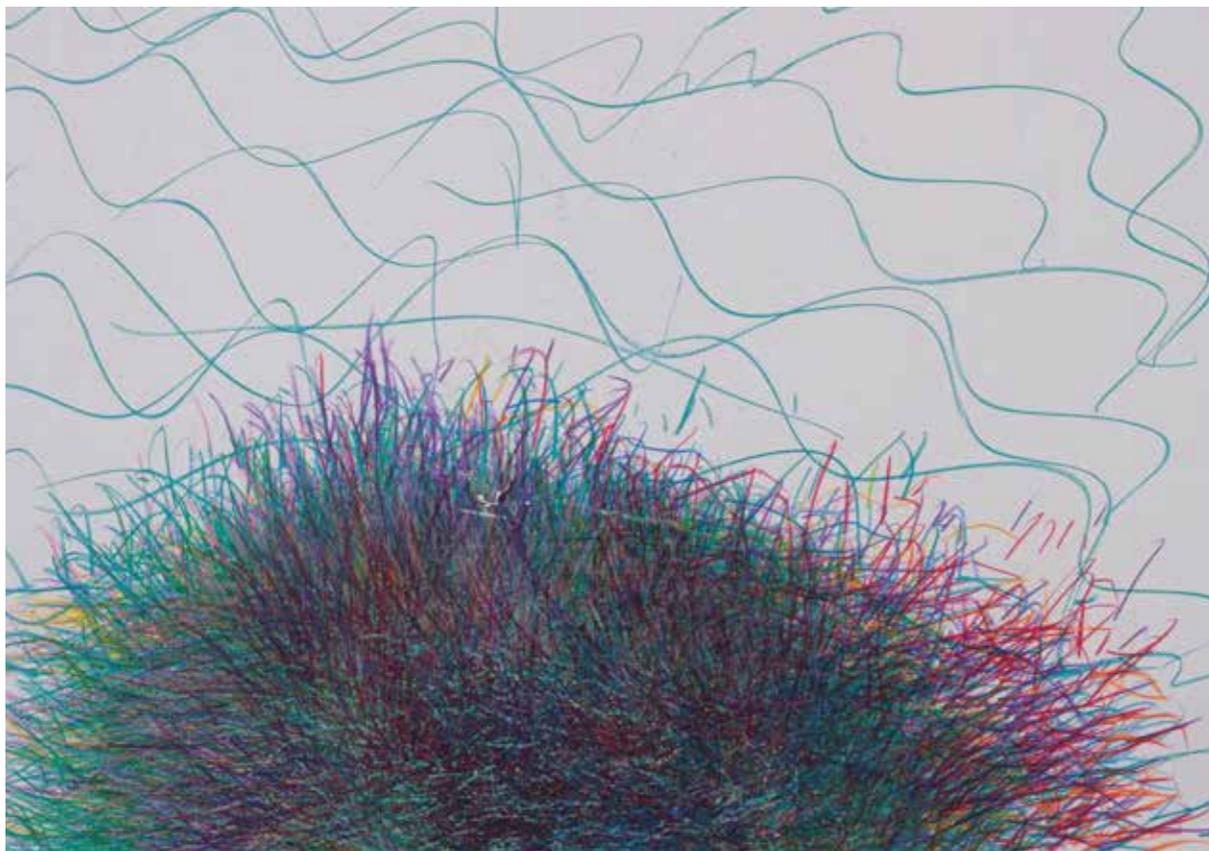
ラビエドラデルペニョール

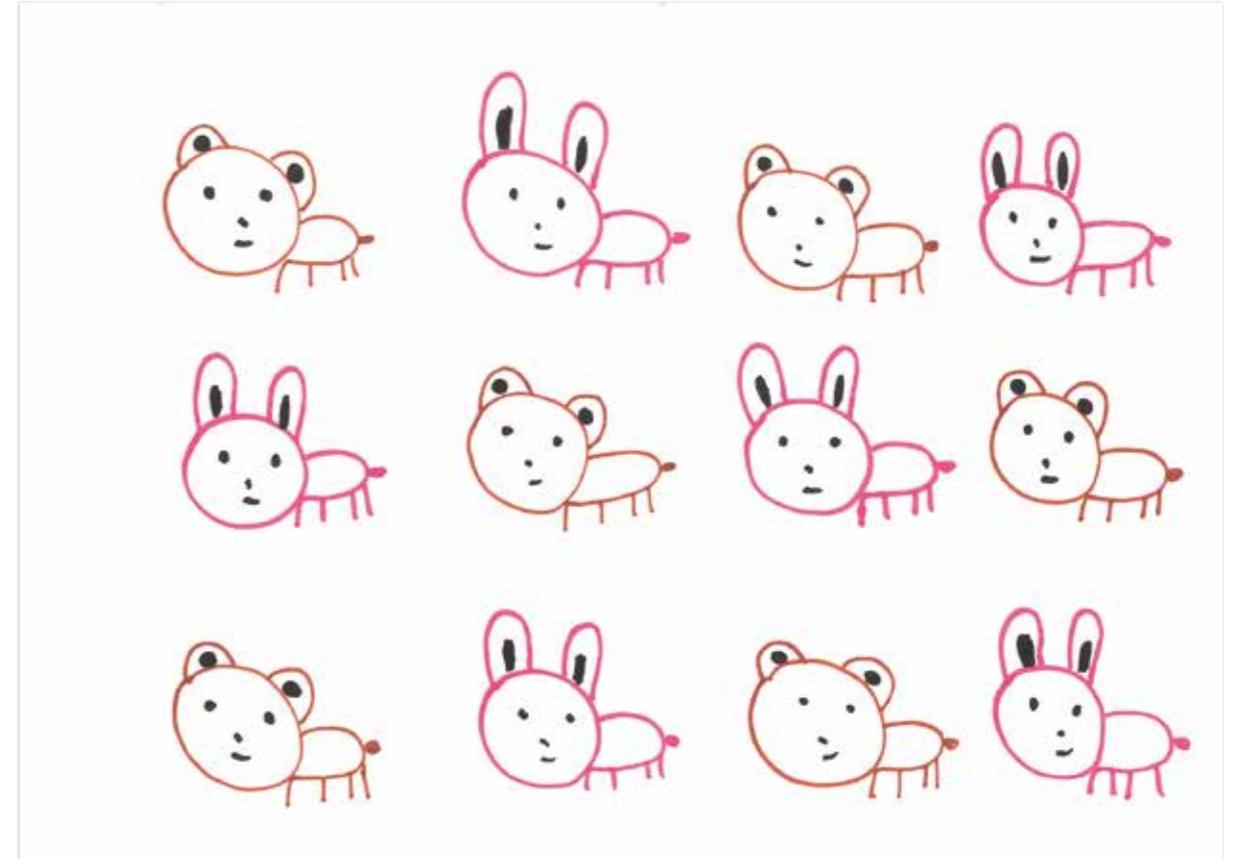


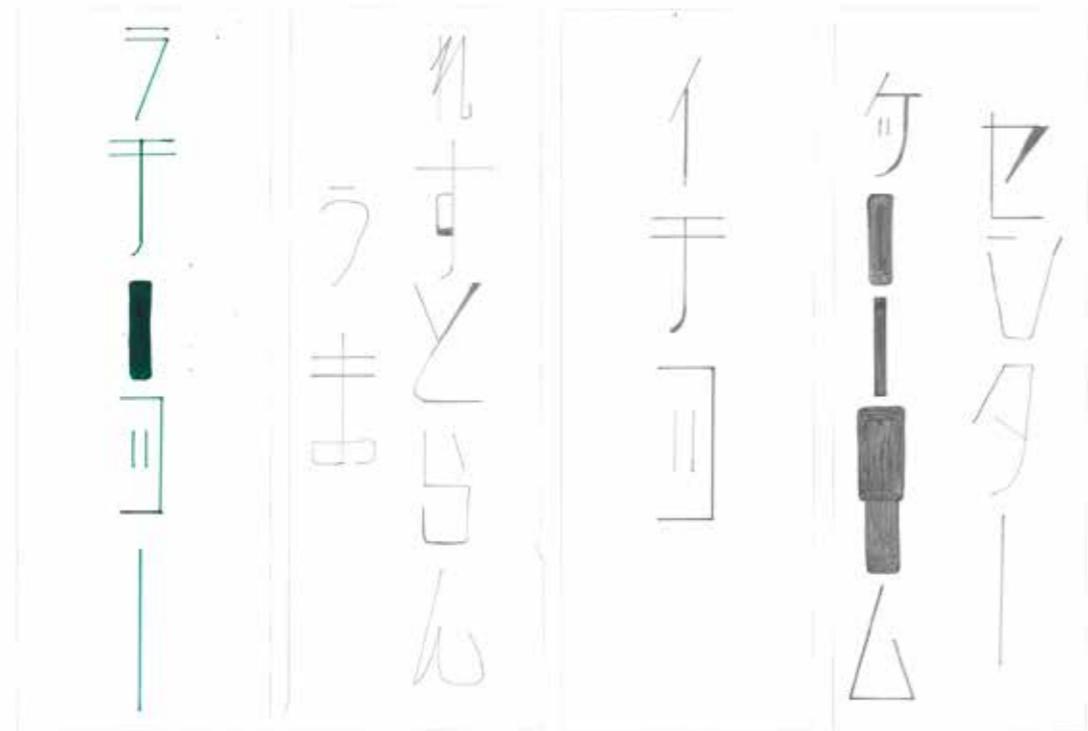
フィロ

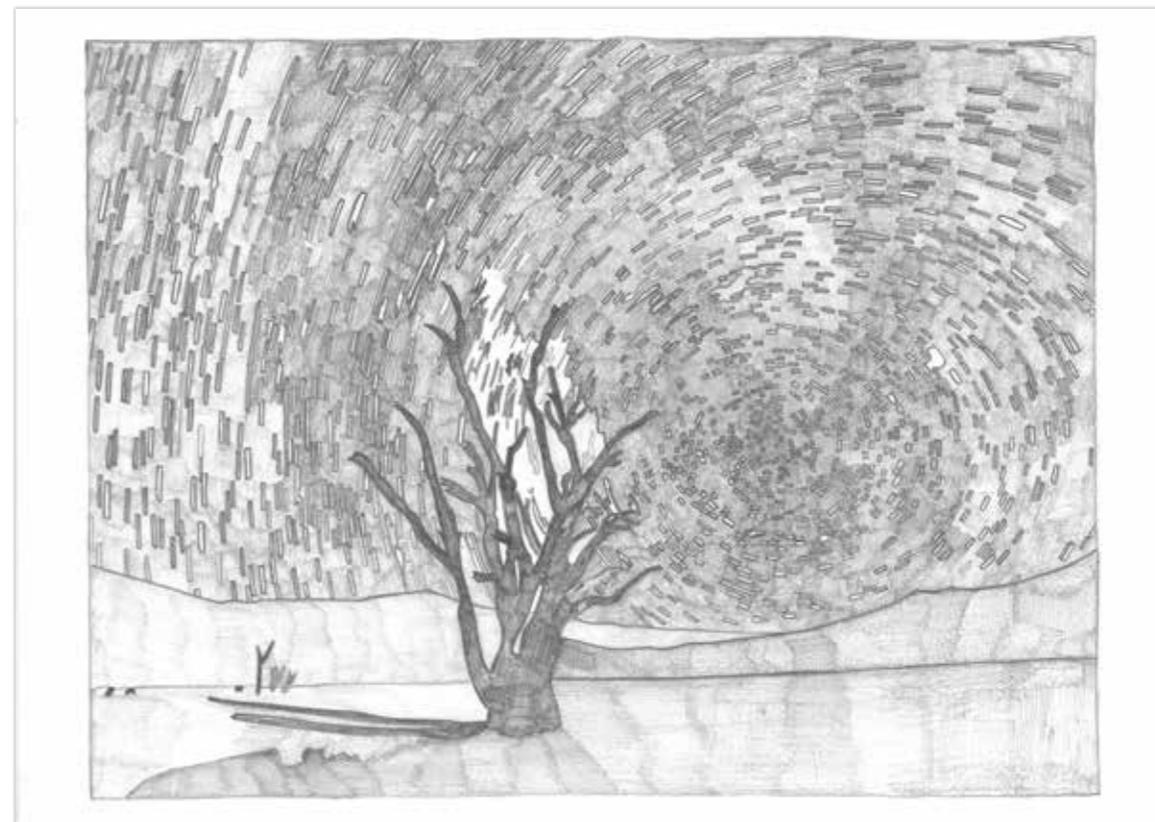






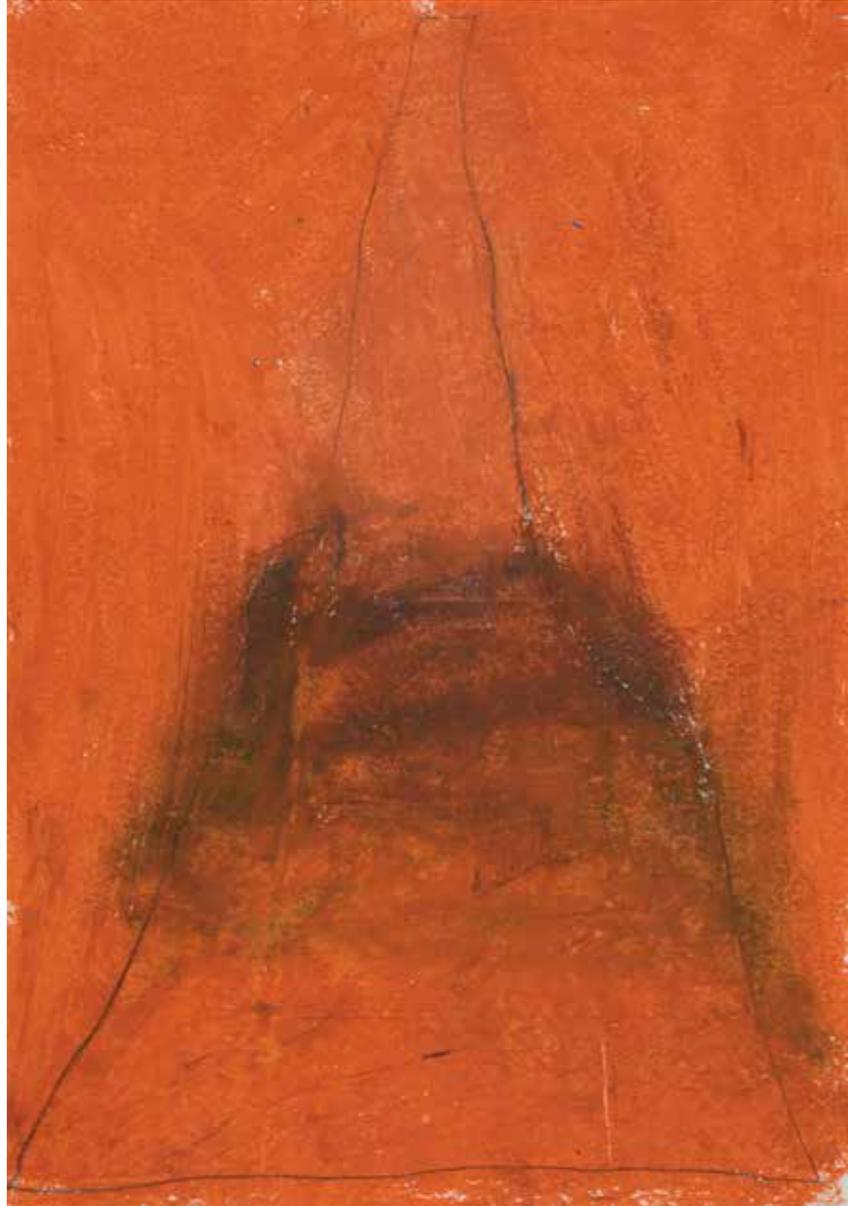






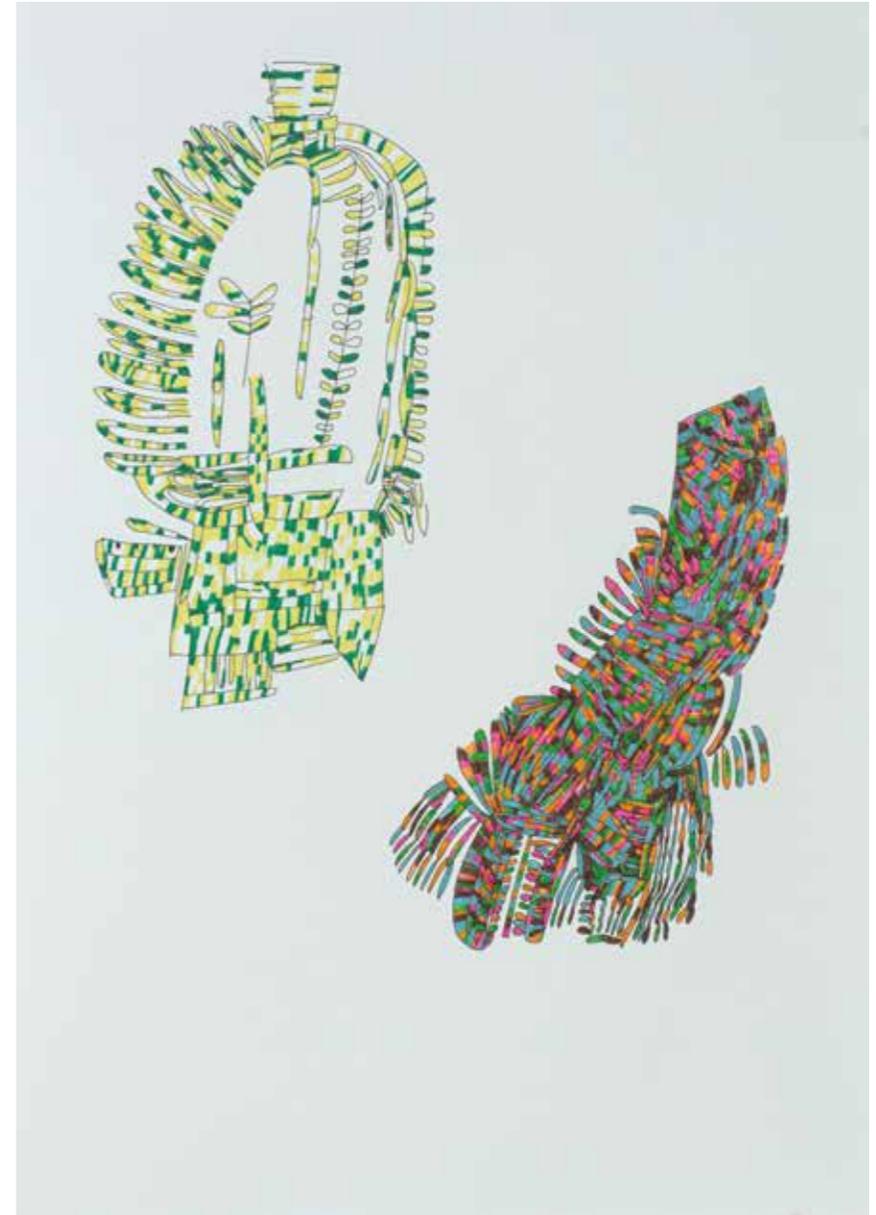








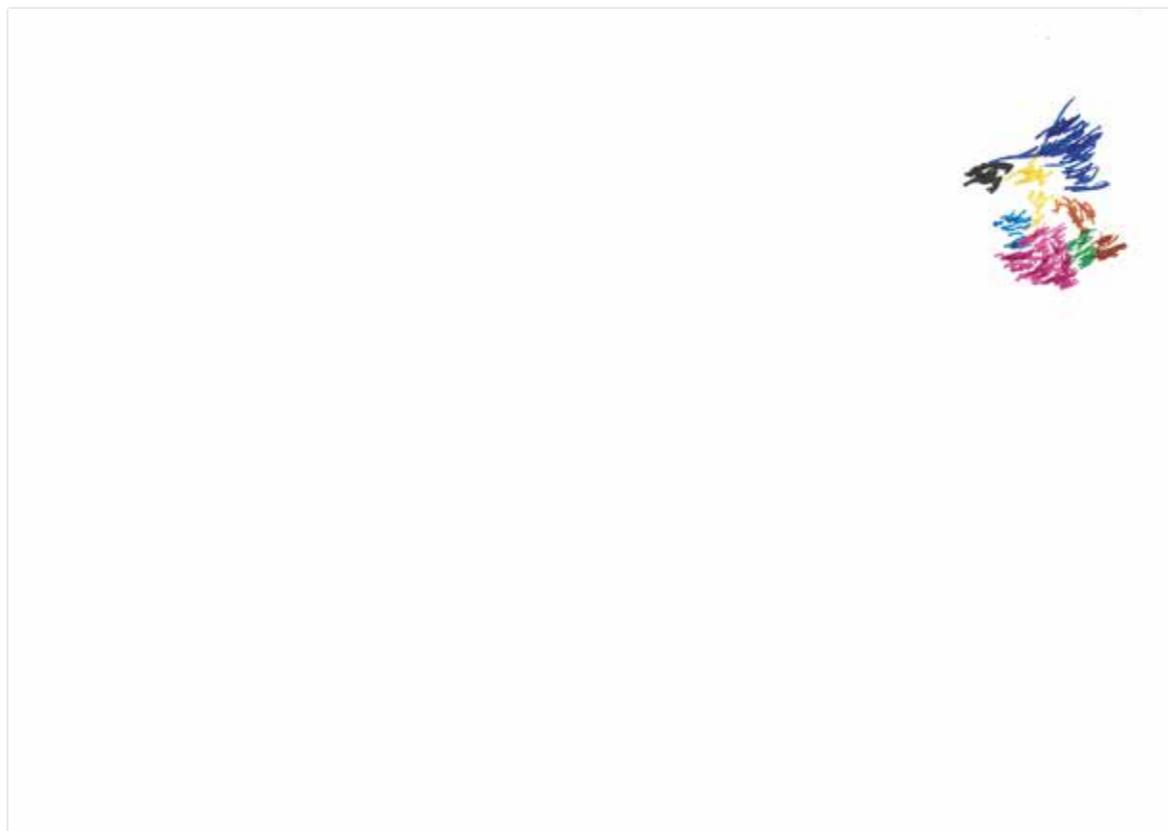


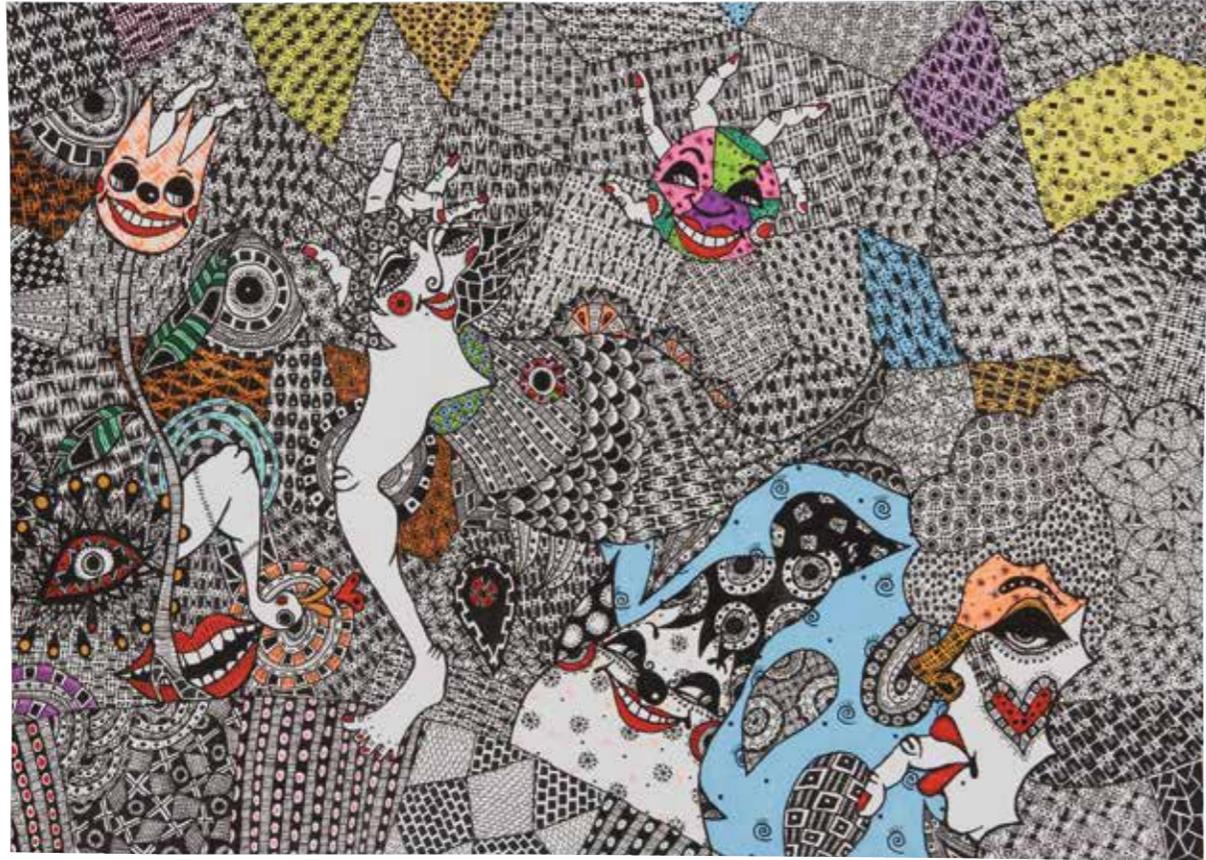


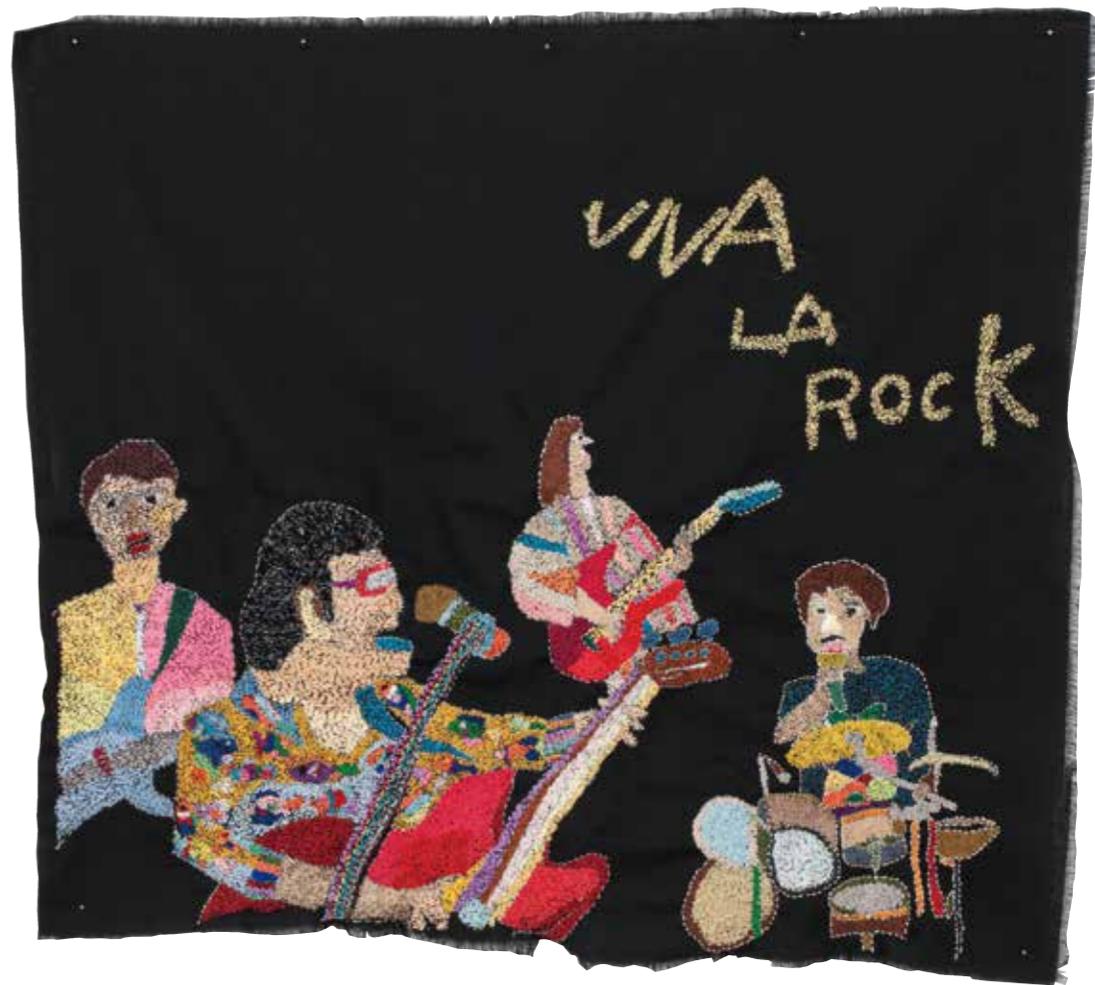
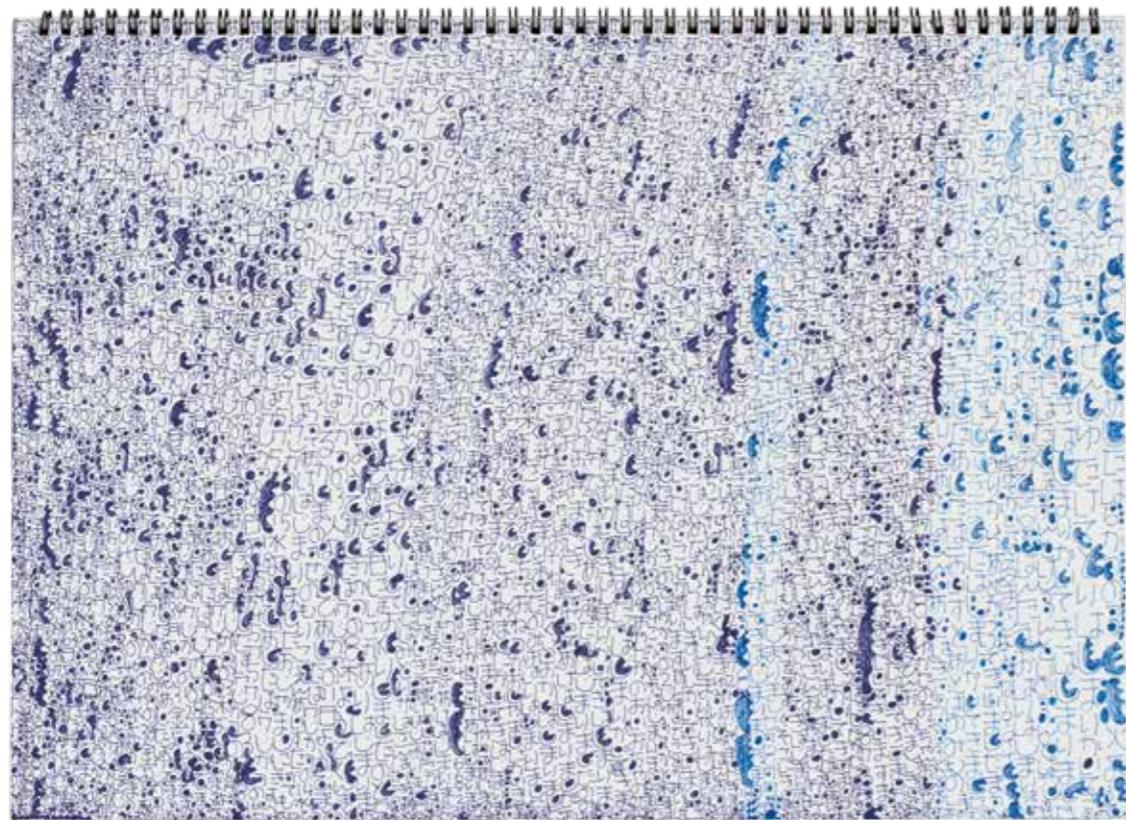


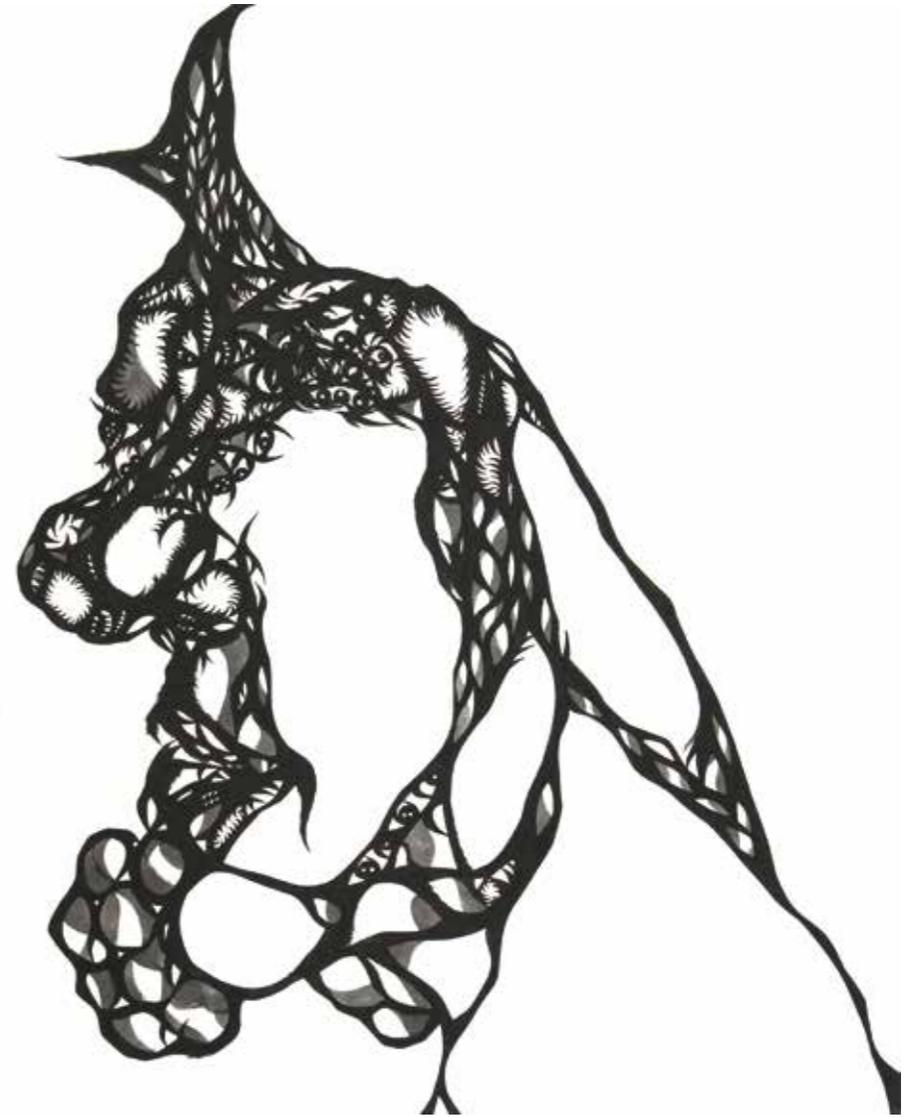
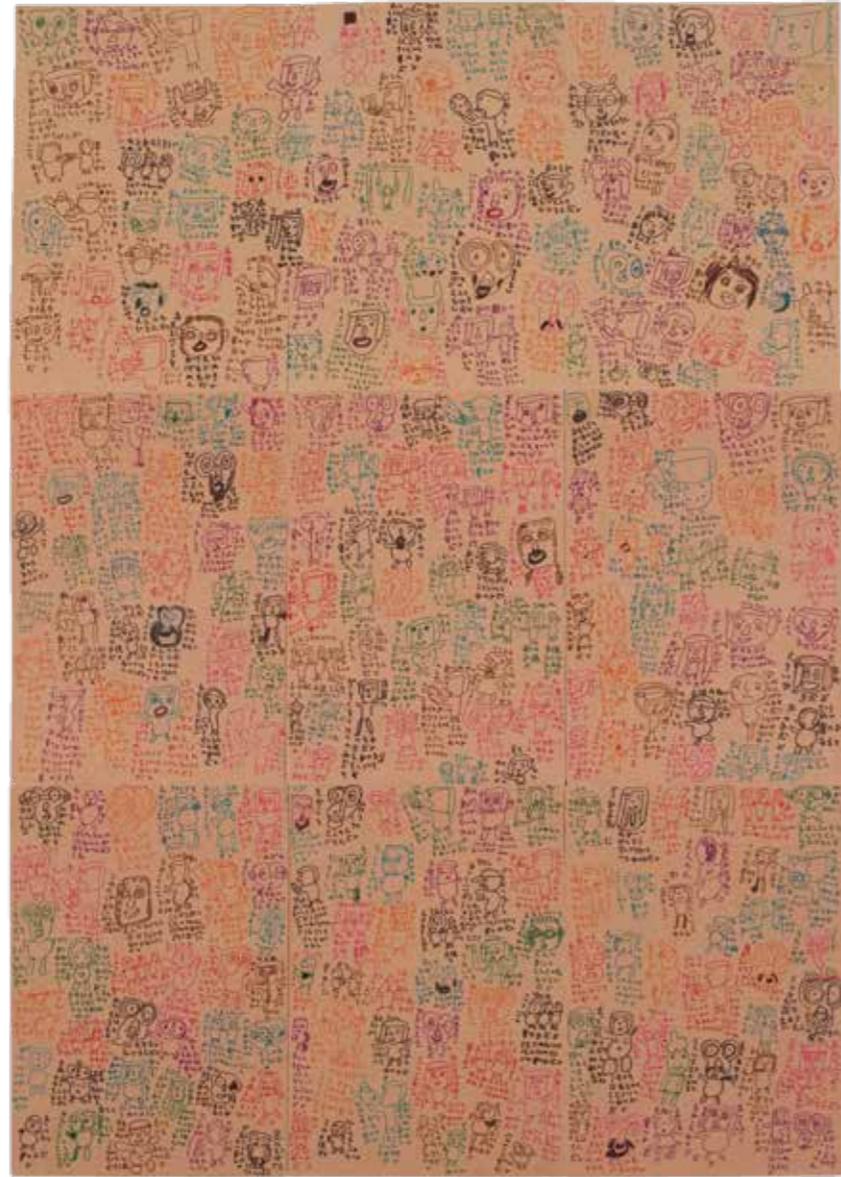




















展示協力施設

- (医) 双里会
- (株) ライフエール
- (公社) やどかりの里
- (社福) 愛弘会
- (社福) 皆成会
- (社福) 川の郷福祉会 おれんじ
- (社福) 啓和会
- (社福) けやきの郷
- (社福) 埼玉医療福祉会 光の家療育センター
- (社福) さいたま市社会福祉事業団 みのり園
- (社福) ささの会
- (社福) 昂
- (社福) 清心会
- (社福) たいむ共生会
- (社福) 戸田わかさ会
- (社福) 新座市障害者を守る会
- (社福) 本庄ひまわり福祉会
- (社福) 皆の郷
- (社福) めだかすとりいむSELPすい一つばたけ
- 埼玉県社会福祉事業団あげお
- 埼玉県社会福祉事業団嵐山郷
- NPO法人CILひこうせん
- NPO法人とりにてい
- NPO法人ゆめたまご
- NPO法人ラッコの会
- Kauri Café&Factory

みんなでつくる展覧会

埼玉県の「障害のある方の表現活動状況調査」では、毎年、「これってアート?」と思われる表現からベテラン作家の新作まで実に多彩な作品が集まります。その調査票をもとに埼玉県障害者アートネットワークTAMAP士Oでは、福祉や美術などの様々な視点を交えて議論を重ね、本展の出展作品を選考しています。2020年度は、586名の調査票から74名の出展作家を選出しました。

例年と違い今年度の選考では、新型コロナウイルス感染予防対策をしながら、いかに「みんなでつくる」趣旨を共有して意思疎通を図るかが、大きな課題でした。そこで試行錯誤の末に採用したのは、段階的に選考を進める方法です。

まず、作品画像や制作状況などが添付・記載された調査票を全てデータ化し、選考委員（個人・施設・専門家）に送付。そしてキュレーターの中津川さんによるリモートレクチャーを開き、本展の目的や選考する上で大切にしていることなどを全体で確認してから、各施設や個人で「ミニ選考会」を行いました。その選考結果をさらにリモート会議で共有した後、「本選考会」を開き、作品を前に意見交換をして最終選考を行いました。

今回、施設ごとに「ミニ選考会」を行ったことで、これまで選考会への参加が難しかった職員の声も反映することができました。コロナ禍での制約によって採用した方法でしたが、結果的に「みんなでつくる」ことができ、今後の作品選考の仕方を考えるきっかけにもなりました。



初の試みとして全作品を収録したDVDを送付



ミニ選考会を実施する上でのレクチャーはリモートにて



ミニ選考会

2020.8.1-20

コロナ感染対策の観点から今年度は美術専門家、ライター、弁護士、県職員、福祉施設職員の総勢130名が各所でミニ選考会を行いました





〔本選考会 参加選考委員〕

中津川浩章（美術家、アートディレクター）、酒井道久（彫刻家、埼玉県立大学名誉教授）、前山裕司（新潟市美術館館長）、岩本憲武（弁護士／モッキンバード法律事務所）、杉千種・山口里佳（コーディネーター／con*tio）、埼玉県福祉部障害者福祉推進課2名、福祉施設職員32名



本選考会

2020.9.10
埼玉県障害者交流センターにて



第11回 埼玉県障害者アート企画展 作品集

執筆・キュレーション

中津川 浩章

アートディレクション

水川 史生 (en design studio)

撮影

今井 紀彰 (作品) 工房集 (選考会)

DTP

工房集デザイン室

編集・発行

社会福祉法人みぬま福祉会 アートセンター集

〒333-0831 埼玉県川口市木曾呂 1445 (工房集内)

TEL 048-290-7355

URL <http://khttp://artcenter-syu.com/>



発行日

2020年12月2日

©社会福祉法人みぬま福祉会 ※無断転載厳禁